

2017年度
第102期
第2四半期

IR通信

2017年4月1日～2017年9月30日



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2017年度第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用・所得環境など総じて改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

建設業界におきましては、公共投資・民間設備投資とも底堅い動きが続き、受注環境は概ね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、中期及び年度経営計画に掲げる①受注の確保・拡大、②利益の確保・拡大、③活力を生む“人づくり”、④品質の向上、⑤働き方改革推進への諸施策に取り組んできた結果、2017年度第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

受注高(個別)につきましては、屋内電気工事・配電線工事が減少したものの、空調管工事・発送変電工事が増加したことにより前年同期を上回りました。

売上高につきましては、空調管工事の増加や前年度の2社の連結子会社化による増加などがあったものの、屋内電気工事・配電線工事の減少などにより前年同期を下回りました。

営業利益につきましては、継続して原価低減に努めましたことが、売上高の減少に伴い売上総利益が減少したことや、上記

連結子会社化に伴う費用などの販管費が増加したことにより前年同期を下回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券償還益を計上したことなどにより前年同期を上回りました。

今後の経済見通しにつきましては、引き続き緩やかな回復を続けていくことが期待されますが、海外経済や金融市場の動向などにより景気が下押しされるリスクがあります。

このような状況のもと、当社グループは、配電線工事の売上高減少が想定されるなか、受注・売上の確保を図るため、引き続きリニューアル工事の提案営業や都市圏をはじめとする事業拡大を推進し、受注活動の強化に取り組んでまいります。

また、原価管理を徹底するとともに、業務効率化の推進により労働生産性を向上させ、利益の確保に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2017年12月



連結業績	
売上高	638億6千3百万円(前年同期比 1.2%減)
営業利益	31億9千5百万円(前年同期比 12.8%減)
経常利益	52億6千1百万円(前年同期比 12.6%増)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	38億8千8百万円(前年同期比 26.5%増)

代表取締役会長

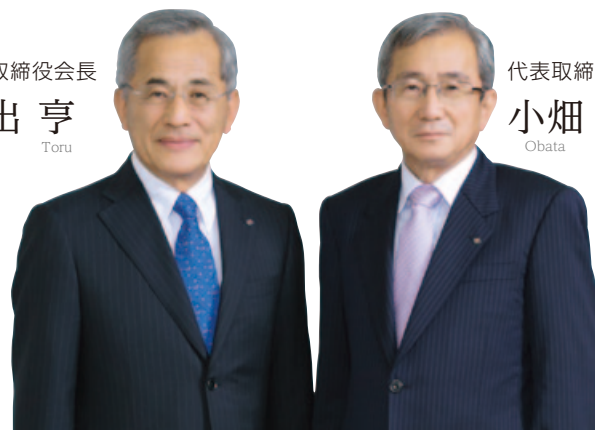
神出 亨

Jinde Toru

代表取締役社長

小畑 博文

Obata Hirofumi



連結決算ハイライト

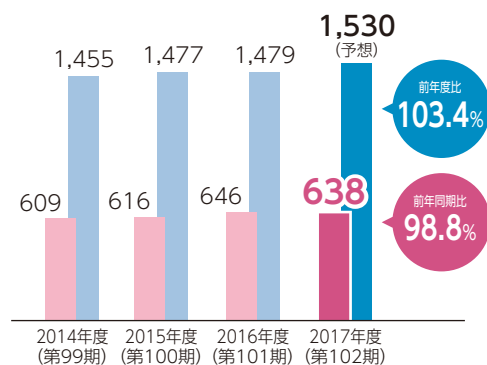
決算POINT

減収・営業利益減益

配電線工事の減少などにより減収、売上高の減少に伴う売上総利益の減少と販管費増により営業利益減益

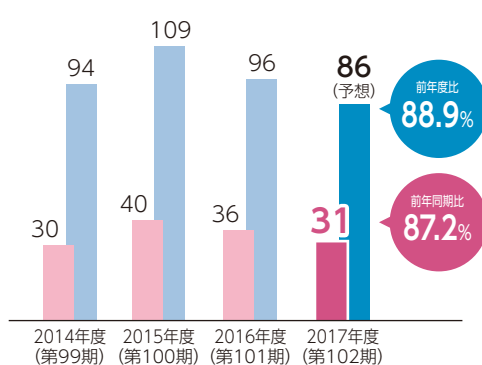
売上高

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



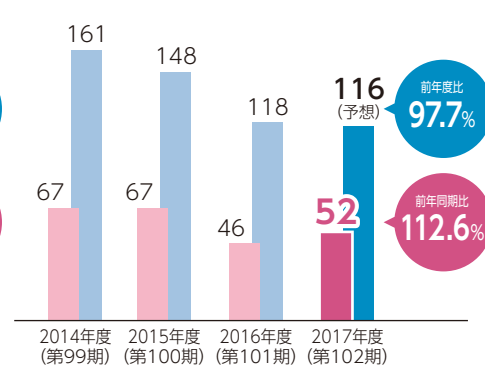
営業利益

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



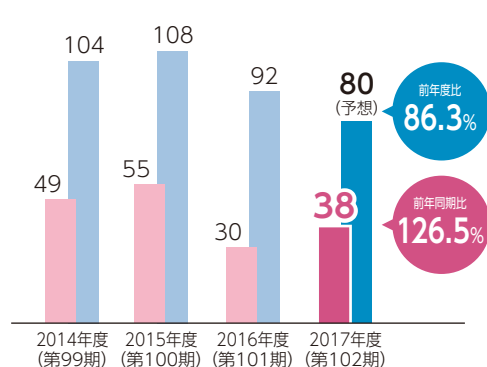
経常利益

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



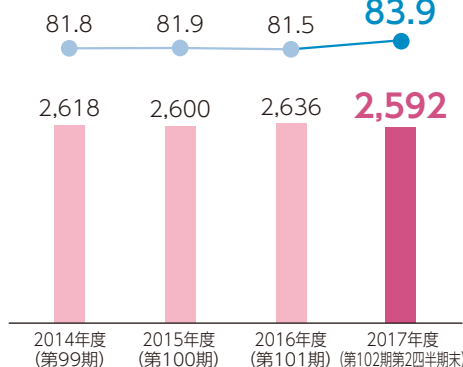
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



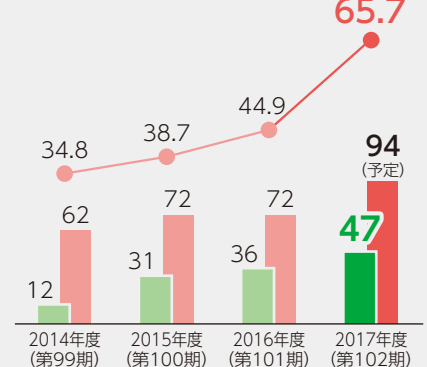
総資産/自己資本比率

■総資産(億円) ■自己資本比率(%)



配当金/配当性向

■中間配当金(円) ■年間配当金(円) ●配当性向(%)



第2四半期 工事種別受注高・売上高(個別)

受注高

723億円

売上高

571億円



屋内電気工事

50.2%

	2016年度 [第101期] [第2四半期(累計)]	2017年度 [第102期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	350	341
売上高(億円)	295	286



空調管工事

	2016年度 [第101期] [第2四半期(累計)]	2017年度 [第102期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	127	154
売上高(億円)	89	99



情報通信工事

	2016年度 [第101期] [第2四半期(累計)]	2017年度 [第102期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	26	26
売上高(億円)	23	20



配電線工事

26.0%

	2016年度 [第101期] [第2四半期(累計)]	2017年度 [第102期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	160	154
売上高(億円)	159	148



発送変電工事

	2016年度 [第101期] [第2四半期(累計)]	2017年度 [第102期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	32	47
売上高(億円)	20	16

売上高
構成比

17.4%

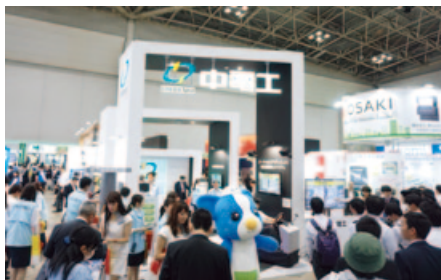
3.6%

2.8%

TOPICS

2017年
5月

JECA FAIR 2017に出展



▲ブースの様子

5月17日から19日までの3日間、東京ビッグサイトにおいて開催された「JECA FAIR 2017(第65回電設工業展)」に出展しました。

今年は、昨年製品コンクールで奨励賞を受賞した「コンセント極性試験器」の改良版や「熱中症警報器(作業者見守りシステム)」、「引下線保持具Ⅱ型」などを出展したほか、「バーチャルリアリティによる安全意識向上システム」のプレゼンテーションを行いました。

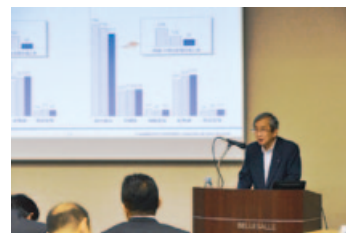
また、今年は当社キャラクターの「こうじろう」がブースに登場し、社員と共に来場者を出迎えました。

2017年
5月

機関投資家向け決算説明会・個人投資家向け会社説明会を実施

5月17日、機関投資家や証券アナリスト等を対象とした「2016年度決算説明会」を東京都内で開催し、2016年度業績や2017年度業績予想、中期経営計画進捗状況及び中電工グループ中長期ビジョン等について説明を行いました。

また、5月26日には松江市、5月31日には下関市において、同地区では初めてとなる「個人投資家向け会社説明会」を開催しました。



▲機関投資家向け決算説明会の様子

2017年
6月

地域環境保全活動

毎年6月に全国的に実施される「環境月間」及び中国電力グループ全体で実施する「エネルギーグループ環境月間」に協調し、省エネ・省資源活動の啓発や地域清掃などの地域環境保全活動を実施しました。

全店で47件、469人の社員が参加しました。



▲沿道や海岸での清掃活動

2017年
10月

新テレビコマーシャルの放映開始

10月1日、新テレビコマーシャル“快適パフォーマンス”篇(15秒、30秒、60秒の3バージョン)の放映を中国5県で開始しました。

新コマーシャルでは、当社が電力供給工事のみならず屋内電気工事・空調管工事・情報通信工事などの幅広い業態を手掛け、あらゆる建物に快適をもたらす様子を、男女2名のダンサーによるダンスパフォーマンスと軽快な音楽で表現しています。また、コマーシャルのコンセプトに合わせたポスターも2種類作成しました。

当社の施工物件を背景に、演出振付家MIKIKOさんの振付によるダンスが目を引くこのコマーシャルは、当社WEBサイト特設ページやYouTube中電工チャンネルでもご覧いただけます。

詳しくはこちらから

<http://www.chudenko.co.jp/kaiteki/> (当社WEBサイト特設ページ)



▲新ポスター

2017年
10月

新たなグループ企業が誕生

10月16日、シンガポールの電気工事会社RYB Engineering Pte. Ltd.を子会社化しました。

同社は、シンガポールにおいて技術的要求水準が高いデータセンター工事を中心に実績を上げており、その技術力は同国内で高い評価を得ています。

当社は、2011年以降マレーシアに現地法人を設立し海外事業に取り組んでいますが、新たに同社がグループに加わることで、優秀な人材や優良顧客が獲得でき、東南アジアにおける事業拡大が可能になると考えています。



▲現地で行われたセレモニーにて

会社概要 (2017年9月30日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,500名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社、東京・大阪本部、九州支社、電力建設所

株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	56,148,894株 (自己株式1,989,223株を除く)
株主数	5,131名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	21,892,259	38.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,865,500	3.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	2.98
株式会社中国銀行	1,398,619	2.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,325,100	2.36
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.24
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	2.01
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	1,114,500	1.98
株式会社広島銀行	1,036,180	1.85
株式会社山口銀行	1,000,279	1.78

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式1,989,223株を控除して計算しております。

役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役会長	神出 亨	取締役常務執行役員	山田 昌志
代表取締役社長	小畑 博文	取締役(社外取締役)	見立 和幸
代表取締役副社長執行役員	畠 由紀男	取締役(社外取締役)	鶴 衛
取締役専務執行役員	國木 恒久	常任監査役	四方田 茂
取締役専務執行役員	伊藤 聖彦	監査役	廣田 充
取締役専務執行役員	堤 孝信	監査役(社外監査役)	椎木 タカ
取締役常務執行役員	緒方 秀文	監査役(社外監査役)	川平 伴勅
取締役常務執行役員	熊崎 村夫	監査役(社外監査役)	松村 秀雄

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法

電子公告により、当社ウェブサイト
(<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>)
に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、**証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は**、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなど制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ・ご請求先】

- ① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま
株主さまの口座がある証券会社
- ② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

ご注意 このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
(ベジタブルインキ)を使用
しています。